

九州ブロック造血細胞移植拠点病院 九州大学病院  
2021.12.18「造血細胞移植看護 基礎研修Ⅱ」Q&A

**Q.** 実際の退院指導の一部を知りたいです。

退院指導で iPad も使用とのこと、どのように説明しているのかも知りたいです。

**A.** 退院時指導では、患者さんに移植パンフレットを事前にお渡しして、退院後の日常生活上の注意点や食事制限、食中毒についてなど退院後の具体的な生活を見据えた説明を行います。  
自部署で作成したパンフレットの内容は iPad にも取り込んでいるので、それを患者さんと一緒に確認しながら説明を行います。  
栄養指導については、管理栄養士に再度依頼することもあります。また、感染予防や口腔ケアについても再度説明を行いますが、その際の動画視聴に iPad を活用しています。

**Q.** 退院後の生活の指導内容など知りたいです。

**A.** 研修でも説明したように、退院後の生活の指導内容は、感染予防・食事制限・皮膚ケア・口腔ケア・リハビリ・セルフモニタリングなど多岐にわたります。  
退院時には、日常生活上の全般的な注意点について説明を行います。  
退院後も定期的に外来受診があるので、LTFU 外来の節目受診などを利用して、移植後の時期に応じて必要な生活指導を追加しています。

**Q.** メンタル面のケアについて教えてください。

**A.** 精神的支援は、入院中は多職種（緩和ケア担当看護師、医療連携センター、退院調整担当者など）で情報共有をしっかりと行い、患者さんに関わりサポートをしています。  
退院後も精神的支援が必要ですので、LTFU 外来で精神面でのフォローも行います。  
LTFU 外来以外でも、緩和ケアセンターやがん相談支援センター、がん看護外来などと連携を図ることもあります。

**Q.** 口腔ケアの CO2 レーザーについて、年齢制限や禁忌など知りたいです。

**A.** 具体的な年齢制限はありませんが、レーザー照射時に開口維持ができ、照射中に急な体動がないことが条件となります。  
悪性腫瘍部へのレーザー照射は禁忌となっていますので、歯肉等の浸潤部位には照射できません。

**Q.** 痒みや発赤、皮膚落屑がひどい時の CV 周りの手入れ方法や保護テープの選択や固定方法について知りたいです。

**A.** ・CVC フィルムドレッシング貼付部のみ掻痒感がある場合、接触性皮膚炎の診断を除外するために貼付範囲を最小限にします。また、現在使用しているフィルムドレッシングより透過性が高く剥離刺激の少ないフィルムドレッシングに変更します。  
・GVHD に伴う発赤や掻痒感がある場合は、医師指示のもと CVC 挿入部位にもステロイド外用薬を塗布します。ステロイド外用薬は、ワセリンなどの油分を使用していないローションタイプを選択してください。（油分が多いと塗布後にフィルムドレッシングが貼付できなくなります。）  
塗布後は 10 分程度置いたあと、濡れたガーゼ等で拭き取りを行い消毒後にフィルムドレッシングを貼付します。

**Q.** CV カテーテル管理について、固定や刺入部保護など九大での管理方法について知りたいです。

**A.** 透過性に優れたフィルムドレッシングを選択し、必要な大きさにカットして使用します。  
固定はフィルムドレッシングに同封されているテープのみ使用し、追加で固定する場合は剥離刺激の少ないサージカルテープでを用います。  
日々の観察を継続し、週1回の消毒を行い、剥がれた際や汚染時にはその都度消毒し貼り替えを行います。

**Q.** ベッド上で行えるリハビリの種類を教えてください。

**A.** 背臥位で膝を立てて臀部を持ち上げる（ブリッジ）や膝を伸ばした状態で下肢を持ち上げる（SLR）といったトレーニングがあります。  
廃用症候群は治療よりも予防が重要です。臥床状態の持続期間をできるだけ減らすように、座位時間や座位・立位になる頻度を増やす工夫も重要となります。